



# 新版画

の美

UKIYO-E

進化系

川瀬巴水・吉田博・伊東深水  
— 世界を魅了した木版画

2022年  
9月14日[水]→11月3日[木・祝]

開館時間：10:00-18:00(金・土曜日は20:00まで) ※入場受付は閉館の30分前まで  
休館日：10月3日(月) / 休室日：10月11日(火) 主催：千葉市美術館、日本経済新聞社

観覧料 一般¥1,200円(960円) / 大学生¥700円(560円) / 小・中学生、高校生無料  
※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※()内は前売り、市内在住65歳以上の方の料金  
※前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ、ローソンチケット(Lコード:34804)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて9月13日まで販売(9月14日以降は当日券販売)。  
◎10月18日(火)は「市民の日」につき観覧無料  
◎ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料半額  
◎本展チケットで5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

千葉市美術館  
Chiba City Museum of Art  
〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央3-10-8  
Tel. 043-221-2311 <https://www.ccma-net.jp>

会 期 2022年9月14日(水)ー11月3日(木・祝)

開館時間 10:00ー18:00(金・土曜日は20:00まで) ※入場受付は閉館の30分前まで

休 館 日 10月3日(月) ※休室日 10月11日(火)

観 覧 料 一般1,200円(960円)、大学生700円(560円)、小・中学生、高校生無料

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※()内は前売り、市内在住65歳以上の方の料金

※前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ、ローソンチケット(Lコード:34804)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて9月13日まで販売(9月14日以降は当日券販売)。

◎10月18日(火)は「市民の日」につき観覧無料

◎ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料半額

◎本展チケットで5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

主 催 千葉市美術館、日本経済新聞社

## 概要

新版画とは、江戸時代に目覚ましい進化を遂げた浮世絵版画の技と美意識を継承すべく、大正初年から昭和のはじめにかけて興隆したジャンルです。伝統的な彫りや摺りの技術に、同時代の画家による清新な表現を合わせようとした版元・渡邊庄三郎(1885-1962)の試みに始まりますが、昭和に入っていくつもの版元が参入し、大きな流れとなりました。

この展覧会では、千葉市美術館が誇る新版画コレクションから、その歴史を通覧します。橋口五葉の《浴場の女》や伊東深水の《対鏡》といった最初期の初々しい名作から、川瀬巴水の情感豊かな日本風景や吉田博の精緻な外国風景、山村耕花や吉川親方による個性的な役者絵を経て、昭和初期のモガ(モダンガール)を鮮烈に描いた小早川清のシリーズ《近代時世粧》に至る、新版画の成立から発展型への歴史を約190点の作品によってたどります。

昨年から東京・大阪・山口を巡回した展覧会の最終展観となる千葉会場では、新版画の先駆ともいえるべき、明治末期に来日して日本の職人とともに木版画を制作したヘレン・ハイドとバーサ・ラムの作品約50点もあわせてご覧いただけます。美人・風景・役者各ジャンルの花形作家たちの競演を、伝統技術の粋と革新的な表現の煌びやかな融合を、ぜひご堪能ください。

※展示やイベントの内容などが変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。

※館内にて新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。

・体調のすぐれない方の来館はご遠慮ください。・咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底にご協力ください。

## ■ 本展の見どころ

### ○浮世絵の技と美を継承する「新版画」

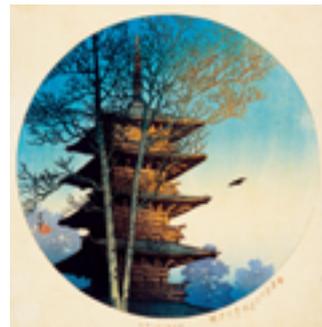
「新版画」は浮世絵版画と同じく「絵師・彫師・摺師」による分業によって大正初期から昭和にかけて作られた多色摺木版画です。伝統的な木版画の技術を用いながらも、下絵は洋画や水彩画など幅広いジャンルの画家が自由な画題で描くことで、新しい画風と精緻な技術が融合し、数々の優品が生み出されました。また浮世絵同様に新版画も、1920年代から現代に至るまでアメリカを中心とする海外で多くのファンを獲得しています。近年は国内でも吉田博や川瀬巴水ら新版画の作家たちの回顧展が開かれ、マンガやアニメのクリエイターからも熱い視線が注がれるなど、大きな注目を集めています。

### ○千葉市美術館の豊富な新版画コレクションから選りすぐりの約240点を展示

千葉市美術館では1995年の開館以来、浮世絵を収集の重要な柱の一つとしてきました。新版画コレクションも、浮世絵以降の版画史をたどるべく20年以上をかけて形成されたものです。浮世絵から新版画に至る版画の歴史を総覧できるコレクションは公立館には珍しく、大変貴重なものとなっています。当館ではこれまでも近代版画の展示を行っており、新版画を手がけた作家では2011年に橋口五葉、2013年に川瀬巴水、2016年に吉田博の回顧展を開催し、いち早く紹介してきましたが「新版画」としてまとめてご紹介するのは今回が初めての試みとなります。

### ○橋口五葉、伊東深水、川瀬巴水、吉田博…新版画の花形作家たちによる競演

《対鏡》などの美人画によって新版画を代表する作家である伊東深水。情感豊かな日本風景を描き、北斎、広重と並び称される川瀬巴水や、洋画の表現を版画に持ち込み、光や空気感をリアルに描写した吉田博など、27人の作家たちの競演によって新版画の成立から発展への歴史を辿ります。とくに、《化粧の女》や《髪梳ける女》など新版画の傑作を残した橋口五葉については、当館では生前五葉自身が監督した作品すべてを所蔵しており、本展で全点展示します。



川瀬巴水《東京十二月 谷中の夕映》  
大正10年(1921) 千葉市美術館蔵



吉田博《大原海岸》  
昭和3年(1928) 千葉市美術館蔵

## ■ 展示作家一覧

※五十音順、()内は本展での出品点数

石川寅治(2)、石渡江逸(2)、伊東深水(25)、伊藤孝之(2)、織田一磨(1)、小原古邨(4)、フリッツ・カベラリ(4)、川瀬巴水(27)、エリザベス・キース(4)、北川一雄(1)、北野恒富(2)、小早川清(11)、高橋松亭(弘明)(7)、鳥居言人(5)、名取春仙(3)、ヘレン・ハイド(43)、橋口五葉(13)、チャールズ・バートレット(4)、古屋台(苔)軒(1)、三木翠山(2)、山川秀峰(2)、山田美穂(1)、山村耕花(16)、山本昇雲(4)、吉川観方(6)、吉田博(40)、パーサーラム(14)

## ■ 記者レクチャー・内覧会

一般公開に先駆けて報道関係の皆様を対象に、記者レクチャーおよび内覧会を行います。展示会の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。

**9月13日(火)15:00-17:00(14:30開場)／8階展示室にて**

参加ご希望の方は、同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてご連絡ください。

## ■ 同時開催

### 常設展「千葉市美術館コレクション選」

5階常設展示室 [休室日]第1月曜日 [観覧料]一般300円 大学生220円(企画展ご観覧の方は無料)

### 「つくりかけラボ08 堀由樹子|えのぐの森」

7月13日(水)ー10月2日(日) 4階子どもアトリエ [休室日]第1月曜日 [観覧料]無料

### 「つくりかけラボ09 大小島真木|コレスポンドランス／Correspondances」

10月13日(木)ー12月25日(日) 4階子どもアトリエ [休室日]第1月曜日 [観覧料]無料

## ■ 次回展予告

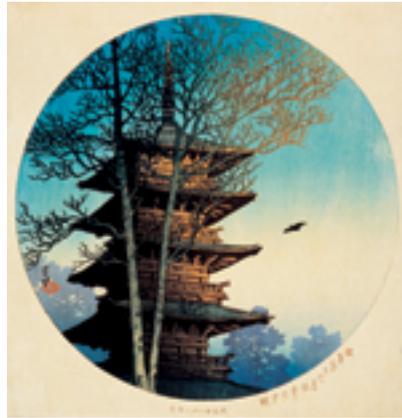
2022年11月12日(土)ー12月25日(日) 「ブラチスラバ世界絵本原画展 絵本でひらくアジアの扉ー日本と韓国のいま」

## ■ 広報用画像一覧

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。ぜひ、本展をご紹介しますようお願いいたします。  
ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。  
画像の使用は1回限りとし、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。



1 橋口五葉《化粧の女》大正7年(1918)  
千葉市美術館蔵



2 川瀬巴水《東京十二月 谷中の夕映》  
大正10年(1921) 千葉市美術館蔵



3 吉田博《大原海岸》昭和3年(1928)  
千葉市美術館蔵



4 山村耕花《踊り 上海ニューカルトン所見》  
大正13年(1924) 千葉市美術館蔵



5 エリザベス・キース《藍と白》  
大正14年(1925) 千葉市美術館蔵



6 小早川清《近代時世粧ノ内一 ぼろ酔ひ》  
昭和5年(1930) 千葉市美術館蔵



7 ヘレン・ハイド《入浴》  
明治38年(1905) 千葉市美術館蔵



8 パーサラム《川面にて》明治45年(1912) 千葉市美術館蔵

## 広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

### ■写真ご使用に際してのお願い

- \* 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- \* 写真のご利用は、1 申込について1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- \* 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- \* 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。
- \* お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

千葉市美術館  
広報担当 磯野 行  
FAX : 043-221-2316  
E-mail : isono@ccma-net.jp

貴社名 :	媒体名 :
ご担当者名 :	発行予定日 :
TEL :	発行部数 :
FAX :	定価 :
Email :	掲載予定コーナー名等 :
画像到着希望日 :      月      日      時まで	画像の掲載サイズ <small>(おおよそで結構です 例 : 5cm 四方、など)</small> :

### ■画像データ申込 (ご希望のデータの番号に○をつけてください。)

- 1 橋口五葉《化粧の女》大正7年(1918) 千葉市美術館蔵
- 2 川瀬巴水《東京十二月 谷中の夕映》大正10年(1921) 千葉市美術館蔵
- 3 吉田博《大原海岸》昭和3年(1928) 千葉市美術館蔵
- 4 山村耕花《踊り 上海ニューカルトン所見》大正13年(1924) 千葉市美術館蔵
- 5 エリザベス・キース《藍と白》大正14年(1925) 千葉市美術館蔵
- 6 小早川清《近代時世粧ノ内 一 ほろ酔ひ》昭和5年(1930) 千葉市美術館蔵
- 7 ヘレン・ハイド《入浴》明治38年(1905) 千葉市美術館蔵
- 8 バーサ・ラム《川面にて》明治45年(1912) 千葉市美術館蔵

### ■「新版画 進化系UKIYO-Eの美」 プレゼント用招待券申込 (ご希望の場合はチェックをつけてください)

5組10名様分 希望します。

(それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談ください。)

チケット送付先

ご住所 : 〒

問い合わせ先

千葉市美術館

〒260-0013 千葉市中央区中央 3-10-8

広報担当 : 磯野 愛

Tel. 043-221-2311 (代表) /043-221-2313 (直通)

Fax. 043-221-2316

E-mail. isono@ccma-net.jp

HP. <https://www.ccma-net.jp/>

新版画  
の美  
DKIYO-E  
進化系

記者レクチャー・内覧会 9月13日(火) 15:00～17:00 8階展示室にて

報道関係の皆様を対象に披露説明会および内覧会を行います。  
展覧会の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。

[タイムスケジュール(予定)]

14:30～ 記者レクチャー会場へのエレベーター稼働・開場  
15:00～ 担当学芸員より展示室にてご説明  
15:15～ 自由内覧

参加ご希望の方は下記項目にご記入の上、

**FAX: 043-221-2316** または **E-mail: isono@ccma-net.jp**

までご返信ください。

ご芳名

---

ご所属

---

貴媒体名

---

お電話番号

---

E-mail

---